研究課題名：
SGLT-2 阻害薬服用患者における術後ケトーシス･ケトアシドーシスの発生状況と術前休薬期間との関連についての検討

所属(診療科)：総合診療センター　救急総合診療部／集中治療部

研究責任者(職名)：内倉　淑男（科長）

研究期間：2026 年 9 月 14 日～2028 年 3 月 31 日

研究目的と意義：
SGLT-2 阻害薬は、糖尿病や心不全、慢性腎臓病などの治療に使用される薬剤です。この薬を服用している患者さんでは、手術前後に血液中のケトン体が増加し、まれにケトアシドーシスという状態を生じることが知られているため、予定手術の前には一定期間休薬することが推奨されています。しかし、適切な期間休薬した場合に、手術後のケトン体がどのように変化するかについては十分に明らかになっていません。
本研究では、SGLT-2 阻害薬を服用していた患者さんについて、手術後のケトーシス・ケトアシドーシスの発生状況と手術前の休薬期間との関連を調査します。本研究により、SGLT-2 阻害薬を服用している患者さんの、より安全な周術期管理につながる知見を得ることを目的としています。

研究内容：
●対象となる患者さん：
2025 年 6 月から 2026 年 7 月の期間に当院集中治療部に入室し、手術前に SGLT-2 阻害薬を服用しており、通常診療として血中ケトン体（β ヒドロキシ酪酸）の測定を受けた患者さんを対象とします。
●利用する情報/資料：診療録（電子カルテ）から、年齢、性別、基礎疾患などの患者背景、SGLT-2 阻害薬を含む使用薬剤、SGLT-2 阻害薬の術前休薬期間、手術の種類および手術に関する情報、血中ケトン体の測定時期・測定値、血糖値、血液ガス分析結果など、本研究に必要な診療情報を収集します。
●研究方法：
収集した診療情報を用いて、手術後の血中ケトン体の変化およびケトーシス・ケトアシドーシスの発生状況を調査します。また、SGLT-2 阻害薬の手術前の休薬期間と、術後の血中ケトン体値やケトーシス・ケトアシドーシスの発生との関連について検討します。
本研究は、すでに診療の過程で得られた情報のみを使用する後ろ向き観察研究であり、研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。

2025/3/1 改訂　第 2 版

研究への情報利用を希望されない場合には、下記の研究担当者までお申し出ください。
研究への情報利用を希望されない場合でも、今後の診療において不利益を受けることはありません。

研究結果を学会や学術雑誌等で公表する場合にも、個人が特定される情報を公表することはありません。

問い合わせ先：

【研究担当者】
氏名：内倉　淑男
住所：〒239-8567 神奈川県横須賀市神明町 1-8
電話：0570-03-2630 FAX：046-884-1305
受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）